

2018年度決算説明資料

出光興産株式会社

2019年5月15日

目次

1. 統合新社事業概要

2. 2018年度決算

(1) 概要

(2) セグメント別情報

(3) 昭和シェル石油決算概要

3. 2019年度業績予想

(1) 概要

(2) セグメント別情報

(3) 投資

(4) 株主還元

4. 参考資料

統合新社事業概要

統合新社事業概要

燃料油セグメント

原油処理能力 94.5万BD^{※1}

国内燃料油販売量 4,300万KL/年

SS数 6,500カ所

基礎化学品セグメント

生産能力

エチレン 100万t/年

パラキシレン・ミックスキシレン 128万t/年

スチレンモノマー 55万t/年

電力・再生可能エネルギー
セグメント

発電能力 800MW
(内、再生可能エネルギー200MW)

太陽電池生産能力 1GW/年

高機能材セグメント

(潤滑油、機能化学品、電子材料、
高機能アスファルト、アグリバイオ、固体電解質)

潤滑油販売量 130万KL/年^{※2}

機能化学品生産能力
エンジニアリングプラスチック 22万t/年
粘接着基材 7.6万t/年

有機EL材料生産能力 10t/年

資源セグメント

原油生産量 2.7万BD

一般炭生産量 1,200万t/年

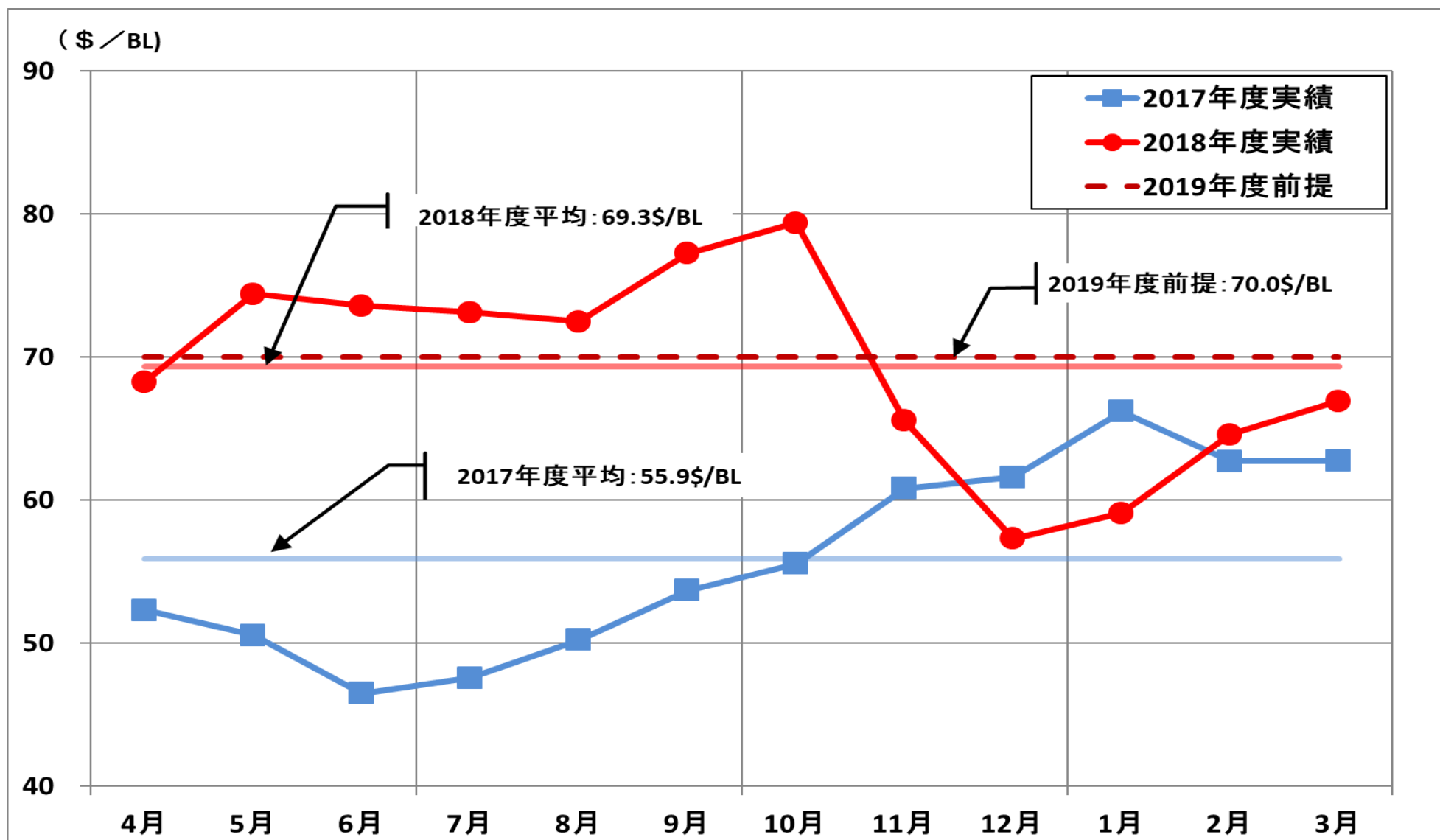
※1 石油製品取引契約を締結する富士石油株式会社の原油処理能力を加えると109万バレル/日

※2 潤滑油販売量はシェルブリカンツジャパン株式会社の販売量を除いた数値

2018年度決算

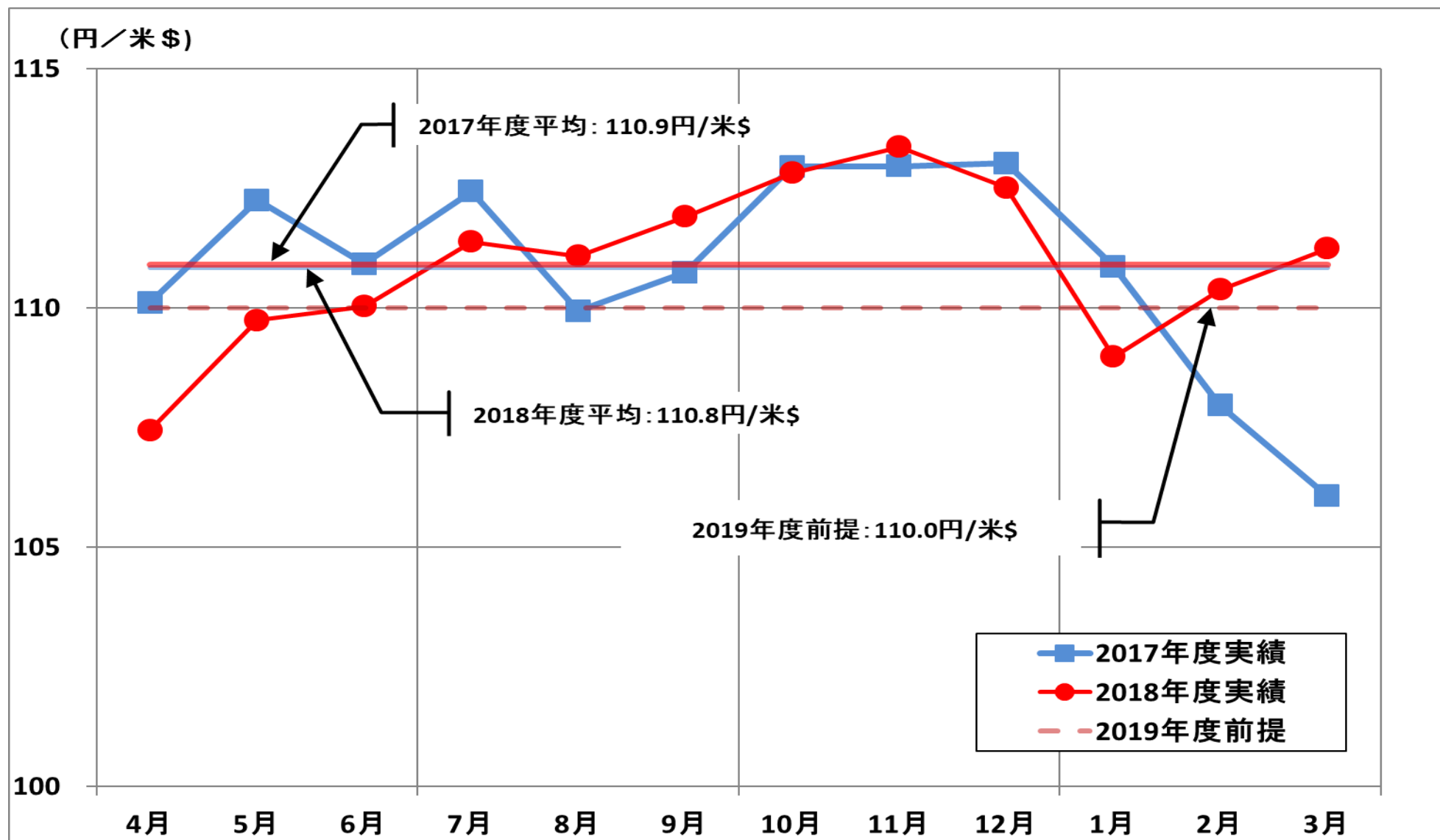
原油価格の推移

【ドバイ原油価格の月次推移と業績予想前提水準】



円／米\$為替レート(TTM)の推移

【円／米\$為替レート(TTM)の月次推移と業績予想前提水準】



総括

【2018年度決算】

- 営業利益は、資源価格上昇による資源セグメント増益等に対し、在庫影響等により石油製品セグメントの利益が減少したこと等から、1,793億円(前年度比▲220億円)となった。
- 経常利益が1,691億円(前年度比▲572億円)となったことに加え、17年度の法人税負担金額減の反動等により親会社株主に帰属する当期純利益は815億円(前年度比▲809億円)となった。

【2019年度業績予想】

- 原油価格前提を年度平均70\$/BL、為替前提を110円/米\$とする。
- 燃料油セグメント増益の一方、資源価格下落による影響等から在庫影響を除く営業利益＋持分法投資損益は、前年並の2,200億円(前年度比＋17億円)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,600億円(前年度比＋730億円)を見込む。

【2018年度配当・2019年度配当予想】

- 2018年度通期配当金は、100円/株(第2四半期末配当金50円/株・期末配当金50円/株)とする。
- 2019年度通期配当金予想は、160円/株(第2四半期末配当金80円/株・期末配当金80円/株)とする。

(1)概要

①原油・為替

(単位：ドル／バレル、ドル／トン、円／ドル)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
原油価格(ドバイ)	55.9	69.3	+13.5	+24.1%
原油価格(ブレント)	54.3	71.0	+16.8	+30.9%
ナフサ価格(通関)	520	621	+101	+19.5%
一般炭価格(NEWC)	88.9	107.1	+18.2	+20.5%
為替レート(TTM)	110.9	110.8	▲0.1	▲0.1%

※ブレント価格・一般炭価格は暦年(1~12月)の平均価格

②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
売上高	37,307	44,251	6,945	+18.6%
営業利益	2,013	1,793	▲220	▲10.9%
(在庫影響)	(311)	(60)	(▲251)	(▲80.7%)
(在庫影響除き)	(1,702)	(1,733)	(+31)	(+1.8%)
営業外損益	250	▲102	▲352	—
経常利益	2,263	1,691	▲572	▲25.3%
特別損益	▲142	▲244	▲103	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,623	815	▲809	▲49.8%
(在庫影響除き)	(1,405)	(773)	(▲632)	(▲45.0%)

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

(2)セグメント別情報

①営業利益

(単位：億円)

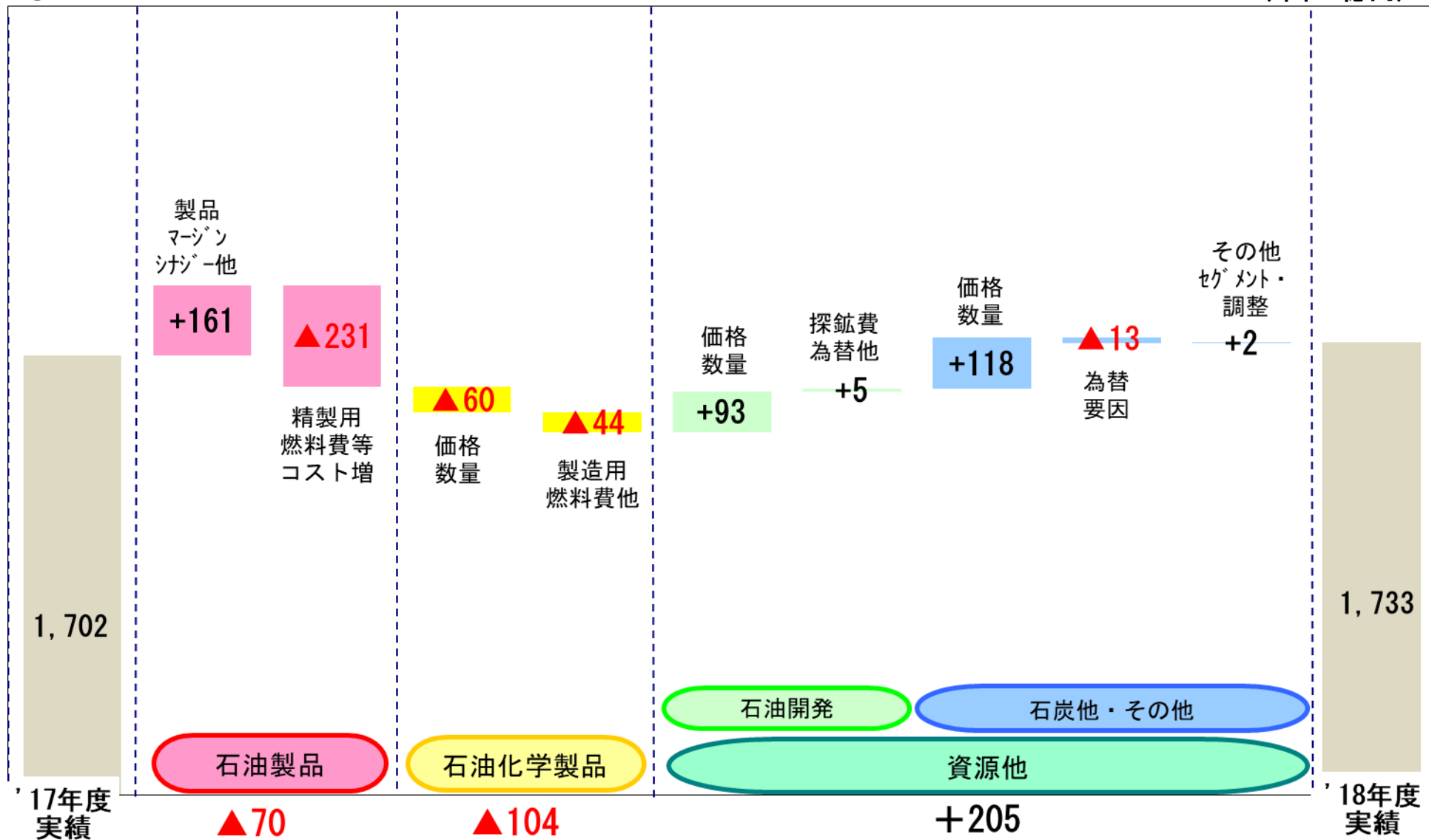
	' 17年度実績	' 18年度実績	増減	
石油製品 (在庫影響除き)	886 (575)	565 (505)	▲321 (▲70)	▲36.3% (▲12.2%)
石油化学製品	422	318	▲104	▲24.7%
資源	668	871	+203	+30.4%
(石油開発)	(272)	(370)	(+98)	(+36.0%)
(石炭他)	(396)	(501)	(+105)	(+26.6%)
その他	73	78	+5	+6.9%
調整額	▲36	▲39	▲3	—
合計 (在庫影響除き)	2,013 (1,702)	1,793 (1,733)	▲220 (+31)	▲10.9% (+1.8%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

(2)セグメント別情報

②営業利益の増減分析(在庫影響除き、前年度比)

(単位:億円)



(3) 昭和シェル石油決算概要

連結損益計算書(概要)

2018年度は、決算期変更により2018年1月～2019年3月の15カ月決算

(単位：億円)

	(参考)2017年1月～ 2018年3月実績	2018年1月～ 2019年3月実績	増 減	
売 上 高	26,477	30,828	+4,351	+16.4%
石油事業	882	919	+37	+4.2%
エネルギーソリューション事業	▲102	▲95	+7	—
その他および調整額	17	18	+1	+5.9%
(在庫影響除き)	(797)	(843)	+46	+5.8%
(在庫影響)	(306)	(110)	▲196	▲64.1%
営業利益	1,103	953	▲150	▲13.6%
経常利益	1,257	1,010	▲247	▲19.6%
特別損益	▲215	▲269	▲54	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	661	391	▲270	▲40.8%

2019年度業績予想

- ・18年度概算：出光興産および昭和シェル石油100%連結ベース合計の概算値
- ・セグメント別情報：営業利益＋持分法投資損益の合計

(1) 概要

① 原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	'18年度実績	'19年度予想	増 減	
原油価格(トバイ)	69.3	70.0	+0.7	+1.0%
原油価格(フレント)	71.0	72.0	+1.0	+1.4%
ナフサ価格(通関)	621	650	+29	+4.7%
一般炭価格(NEWC)	107.1	93.0	▲14.1	▲13.1%
為替レート(TTM)	110.8	110.0	▲0.8	▲0.7%

※フレント価格・一般炭価格は暦年(1~12月)の平均価格

② 連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	'18年度概算	'19年度予想	増 減	
売上高	68,666	67,900	▲766	▲1.1%
営業利益	2,291	2,200	▲91	▲4.0%
+ 持分法投資損益				
(在庫影響)	(108)	(0)	(▲108)	(▲100%)
(除 在庫影響)	(2,183)	(2,200)	(+17)	(+0.8%)
経常利益	2,365	2,285	▲80	▲3.4%
特別損益	▲557	100	+657	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	945	1,600	+655	+69.3%
(在庫影響除き)	(870)	(1,600)	(+730)	(+83.9%)

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

(2)セグメント別情報

①営業利益＋持分法投資損益

(単位：億円)

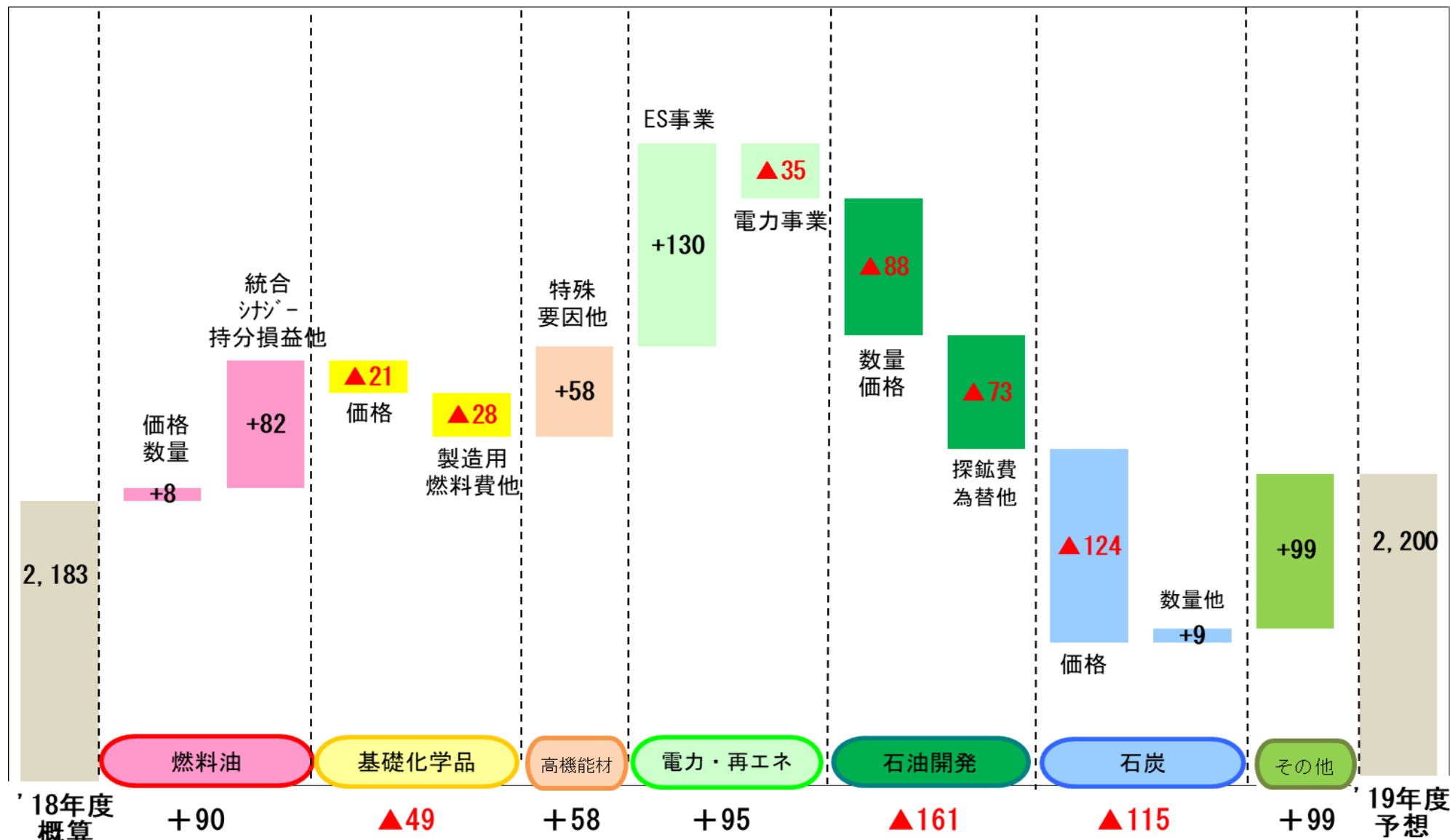
	'18年度概算	'19年度予想	増減	
燃料油	798	780	▲18	▲2.3%
(在庫影響除き)	(690)	(780)	(+90)	(+13.0%)
基礎化学品	504	455	▲49	▲9.8%
高機能材	332	390	+58	+17.4%
電力	▲75	20	+95	—
再生可能エネルギー				
資 源	885	610	▲275	▲31.1%
(石油開発)	(371)	(210)	(▲161)	(▲43.4%)
(石炭)	(515)	(400)	(▲115)	(▲22.3%)
その他・調整額	▲154	▲55	+99	—
合 計	2,291	2,200	▲91	▲4.0%
(在庫影響除き)	(2,183)	(2,200)	(+17)	(+0.8%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

(2)セグメント別情報

②営業利益+持分法投資損益増減分析(在庫影響除き、前年比)

(単位:億円)



(2)セグメント別情報

③昭和シェル石油との統合シナジー(2015年度比)

分野	主要項目	(億円)	
		2018年度 実績	2019年度 予想
原油調達	<ul style="list-style-type: none"> ・原油の共同調達 ・原油タンカーの共同配船 ・傭船/新造船コスト削減 	10	15
需給・海外 物流・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・最適生産計画システム一体化 ・7製油所の石油製品・半製品相互融通 ・出荷基地の相互利用 ・輸出入一体化と海外販売の拡大 ・出荷基地の統廃合 	80	180
製造・調達	<ul style="list-style-type: none"> ・精製マージン改善施策のベストプラクティス展開 ・共同調達によるコスト削減 ・IM0対応の最適化、揮発油需要減等対応最適化 	30	80
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・組織統合による重複コスト削減(オフィス統合等) ・設備投資最適化 ・潤滑油基地の相互利用 ・その他(ITシステム、BPRの推進等) 	10	25
合計		130	300

(3) 投資

(単位:億円)

	2018年度 概算	2019年度 見込	増減
戦略投資	1,001	1,220	219
維持更新投資	576	710	134
合計	1,577	1,930	353
減価償却費 (含むのれん償却費)	861	1,030	169

(4)株主還元

■方針

株主還元を経営上の重要課題の一つと考え、統合効果を着実に収益に結びつけ、株主還元を実現

■2019～2021年度における考え方

当期利益目標を累計5,000億円以上とし、このうち50%又はそれを上回る株主還元を実施（当該株主還元額の10%以上を自己株式取得に充てる予定）

■2019年度配当予想

上記方針に基づき、2019年度は1株当たり配当金を160円を予定

また、配当金と合わせて2019年度の総還元性向50%を実現する自己株式取得を実施予定

1株当たり配当金	第2四半期末	期末	年間
2017年度(実績)	40円	40円	80円
2018年度(実績)	50円	50円	100円
2019年度(予想)	80円	80円	160円

參考資料

目次

1. 決算関連

(1) 2018年度決算(2/14公表比)

(2) セグメント別売上高

(3) 特別損益明細

(4) 連結貸借対照表

(5) 連結財政状況

(2019年4月1日、概算)

(6) 連結キャッシュフロー計算書

2. 感応度

3. 販売と生産

(1) 販売・生産数量実績

(2) 販売・生産数量見通し

4. 市況

5. 製油所稼働の状況

6. SS数推移

1. 決算関連

(1) 2018年度決算(2/14公表比)

①原油・為替

(単位：ドル/バレル、ドル/トン、円/ドル)

	2/14公表	'18年度実績	増減	
原油価格(トバイ)	68.4	69.3	+0.9	+1.4%
原油価格(フレント)	71.0	71.0	+0.0	+0.0%
ナフサ価格(通関)	619	621	+2	+0.3%
一般炭価格(NEWC)	107.3	107.1	▲0.2	▲0.2%
為替レート(TTM)	111.6	110.8	▲0.8	▲0.7%

※フレント価格・一般炭価格は暦年(1~12月)の平均価格

②連結損益計算書(概要)

(単位：億円)

	2/14公表	'18年度実績	増減	
売上高	42,700	44,251	1,551	+3.6%
営業利益	1,690	1,793	+103	+6.1%
(在庫影響)	(0)	(60)	(+60)	—
(在庫影響除き)	(1,690)	(1,733)	(+43)	(+2.6%)
営業外損益	▲60	▲102	▲42	—
経常利益	1,630	1,691	+61	+3.8%
特別損益	▲400	▲244	+156	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	600	815	+215	+35.8%
(在庫影響除き)	(600)	(773)	(+173)	(+28.8%)

※たな卸資産の評価方法は総平均法を採用

※「在庫影響」は、在庫評価及びたな卸資産簿価切下の影響を含む

※数字は億円未満を四捨五入で表示

1. 決算関連

(1) 2018年度決算(2/14公表比)

③セグメント別営業利益

(単位：億円)

	2/14公表	'18年度実績	増減	
石油製品	470	565	+95	+20.2%
(在庫影響除き)	(470)	(505)	(+35)	(+7.4%)
石油化学製品	340	318	▲22	▲6.5%
資源	850	871	+21	+2.5%
(石油開発)	(360)	(370)	(+10)	(+2.9%)
(石炭他)	(490)	(501)	(+11)	(+2.3%)
その他	70	78	+8	+10.8%
調整額	▲40	▲39	+1	—
合計	1,690	1,793	+103	+6.1%
(在庫影響除き)	(1,690)	(1,733)	(+43)	(+2.6%)

※資源に含まれる「石油開発」及び「豪州石炭」は12月決算

1. 決算関連

(2) 2018年度セグメント別売上高

(単位：億円)

	' 17年度実績	' 18年度実績	増減	
石油製品	28,708	34,889	+6,181	+21.5%
石油化学製品	5,007	5,554	+547	+10.9%
資源	2,894	3,080	+186	+6.4%
（石油開発）	(808)	(775)	(▲33)	(▲4.1%)
（石炭他）	(2,086)	(2,305)	(+219)	(+10.5%)
その他・調整額	698	728	+30	+4.3%
合計	37,307	44,251	+6,945	+18.6%

1. 決算関連

(3) 特別損益明細

(単位：億円)

	'17年度実績	'18年度実績	増減
固定資産売却益	17	42	+25
関係会社株式売却益	121	2	▲119
その他	4	71	+67
特別利益計	143	115	▲28
固定資産売却除却損	34	30	▲4
減損損失	87	159	+72
その他	163	171	+7
特別損失計	284	360	+75
特別損益	▲142	▲244	▲103

1. 決算関連

(4) 連結貸借対照表

(単位:億円)

	'18/3末	'19/3末	増減		'18/3末	'19/3末	増減
現金・預金	884	919	+34	買掛債務	4,296	3,992	▲304
売掛債権	4,862	4,533	▲329	短期借入金等	3,059	3,687	+628
たな卸資産	5,356	5,866	+509	その他流動負債	4,262	4,279	+17
その他流動資産	980	937	▲43	流動負債計	11,616	11,958	+342
				長期借入金等	5,862	5,812	▲50
				その他固定負債	2,666	2,344	▲321
流動資産計	12,082	12,254	+172	固定負債計	8,527	8,156	▲372
有形固定資産	10,068	9,920	▲148	負債合計	20,143	20,114	▲30
(土地)	5,797	5,763	▲35	株主資本	7,028	7,100	+71
(その他)	4,270	4,157	▲113	その他の包括利益 累計額	1,659	1,321	▲337
その他固定資産	7,052	6,729	▲324	非支配株主持分	372	368	▲4
固定資産計	17,120	16,649	▲471	純資産計	9,059	8,789	▲270
総資産計	29,203	28,903	▲300	負債・純資産計	29,203	28,903	▲300

有利子負債計	8,936	9,514	+577
自己資本比率	29.7%	29.1%	▲0.6%
ネットD/Eレシオ	0.93	1.02	0.09

1. 決算関連

(5) 連結財政状況(2019年4月1日、概算)

(単位:億円)

資産の部	
流動資産 合計	18,200
(統合に伴うのれん、顧客関連資産)	(2,500)
固定資産 合計	23,400
資産 合計	41,600

負債・純資産の部	
負債 合計	28,500
株主資本・その他包括利益累計額	12,400
非支配株主持分	700
純資産 合計	13,100
負債・純資産 合計	41,600

ネット有利子負債(億円)	9,400
自己資本比率(%)	29.8
ネットD/Eレシオ(倍)	0.8

1. 決算関連

(6) 連結キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	'17年度実績	'18年度実績
営業活動によるCF	1,368	1,510
税金等調整前純利益	2,122	1,447
減価償却費	679	616
売上債権・たな卸資産の増減	▲ 2,657	▲ 267
その他	1,224	▲ 286
投資活動によるCF	▲ 899	▲ 1,223
有形固定資産の取得	▲ 581	▲ 763
その他	▲ 318	▲ 460
財務活動によるCF	▲ 519	▲ 202
借入金等の増減	▲ 1,543	582
株式の発行による収入	1,186	0
自己株式の取得による支出	▲ 0	▲ 559
その他	▲ 162	▲ 224
現預金等に係る換算差額等	18	▲ 47
現預金等の増減額	▲ 32	39
現預金等の期首残高	901	868
現預金等の期末残高	868	907

2. 感応度

(1) 原油価格1ドル/バレル上昇の収支への影響

燃料油	精製用燃料費増加等	▲ 10 億円
	在庫評価影響の増	+ 50 億円
	計	+ 40 億円
石油開発		+ 10 億円

(2) 為替1円/ドル円高の収支への影響

燃料油	精製用燃料費減少等	+ 5 億円
	在庫評価影響の減	▲ 30 億円
	計	▲ 25 億円
基礎化学品		▲ 5 億円
石油開発		—

※上記の他に、資源事業において、ノルウェークローネ・豪ドル等の為替変動影響を受けます。

3. 販売と生産

(1)－①販売数量実績(燃料油販売:個別)

(単位：千KL、%)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
ガソリン	7,876	7,691	▲184	▲2.3%
(ハイオク)	(825)	(777)	▲49	▲5.9%
(レギュラー)	(7,050)	(6,915)	▲136	▲1.9%
ナフサ	280	384	+104	+37.0%
ジェット燃料	1,856	1,973	+117	+6.3%
灯油	2,579	2,280	▲299	▲11.6%
軽油	6,163	6,041	▲121	▲2.0%
A重油	2,320	2,099	▲221	▲9.5%
C重油	2,386	2,143	▲242	▲10.2%
国内燃料油販売計	23,459	22,612	▲847	▲3.6%
輸出燃料油	3,299	3,361	+62	+1.9%
(一般輸出)	(1,298)	(1,309)	+12	+0.9%
燃料油販売計	26,757	25,973	▲784	▲2.9%

3. 販売と生産

(1)－②販売数量実績(石油化学製品・個別)

(単位：千t、%)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
石油化学製品計	3,450	3,543	+93	+2.7%
(基礎化学品)	(3,403)	(3,493)	+90	+2.6%
(機能製品計)	(47)	(50)	+3	+6.9%

(1)－③販売数量実績(潤滑油)

(単位：千KL、%)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
潤滑油	1,233	1,271	+38	+3.1%

※海外ライセンス販売先を含む

3. 販売と生産

(1)－④石油開發生産量実績(ガス含む)

(単位：千BOED、%)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
ノルウェー	33.7	26.8	▲6.9	▲20.4%
英国	3.3	0.0	▲3.3	▲100.0%
生産量合計(千BOED)	37.0	26.8	▲10.1	▲27.4%
生産量合計(千BOE)	13,493	9,795	▲3,698	▲27.4%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

(1)－⑤石炭生産量実績

(単位：千t、%)

	'17年度実績	'18年度実績	増減	
エンシャム	4,455	4,453	▲2	▲0.0%
マッセルブルック	1,516	1,516	0	0.0%
ボガブライ	5,611	5,302	▲309	▲5.5%
タラウオンガ	692	204	▲488	▲70.5%
生産量合計	12,274	11,475	▲799	▲6.5%
マリナウ	1,164	1,068	▲96	▲8.2%
生産量合計	13,438	12,543	▲895	▲6.7%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

3. 販売と生産

(2)－①販売数量見通し(燃料油セグメント)

(単位：千KL、%)

	'18年度概算	'19年度予想	増減	
ガソリン	15,386	14,880	▲507	▲3.3%
ナフサ	447	390	▲57	▲12.8%
ジェット燃料	5,261	5,310	+49	+0.9%
灯油	4,452	4,610	+158	+3.5%
軽油	11,380	11,060	▲320	▲2.8%
A重油	3,808	3,790	▲18	▲0.5%
C重油	3,550	3,300	▲250	▲7.0%
国内燃料油販売計	44,285	43,340	▲945	▲2.1%
輸出燃料油	4,118	3,570	▲547	▲13.3%
燃料油販売計	48,402	46,910	▲1,492	▲3.1%

3. 販売と生産

(2)－②販売数量見通し(基礎化学品セグメント)

(単位：千t、%)

	'18年度概算	'19年度予想	増減	
基礎化学品	4,289	4,270	▲19	▲0.4%

(2)－③潤滑油、機能化学品販売数量見通し(高機能材セグメント)

(単位：千KL、千t、%)

	'18年度実績	'19年度予想	増減	
潤滑油	1,271	1,300	+29	+2.3%
機能化学品	618	660	+42	+6.7%

※潤滑油は海外ライセンス販売先を含む

※潤滑油販売量はシェルルブリカンツジャパン株式会社の販売量を除く

(2)－④販売量見通し(電力・再生可能エネルギーセグメント)

(単位：百万kWh、%)

	'18年度概算	'19年度予想	増減	
電力小売販売量	2,314	2,720	+406	+17.5%

3. 販売と生産

(2)－⑤石油開発生産量見通し(資源セグメント)

(単位：千BOED)

	'18年度実績	'19年度予想	増減	
ノルウェー	26.8	22.7	▲4.1	▲15.3%
生産量合計 (千BOE)	9,795	8,300	▲1,495	▲15.3%

※数値は資源開発子会社の保有権益ベース

(2)－⑥石炭生産量見通し(資源セグメント)

(単位：千t)

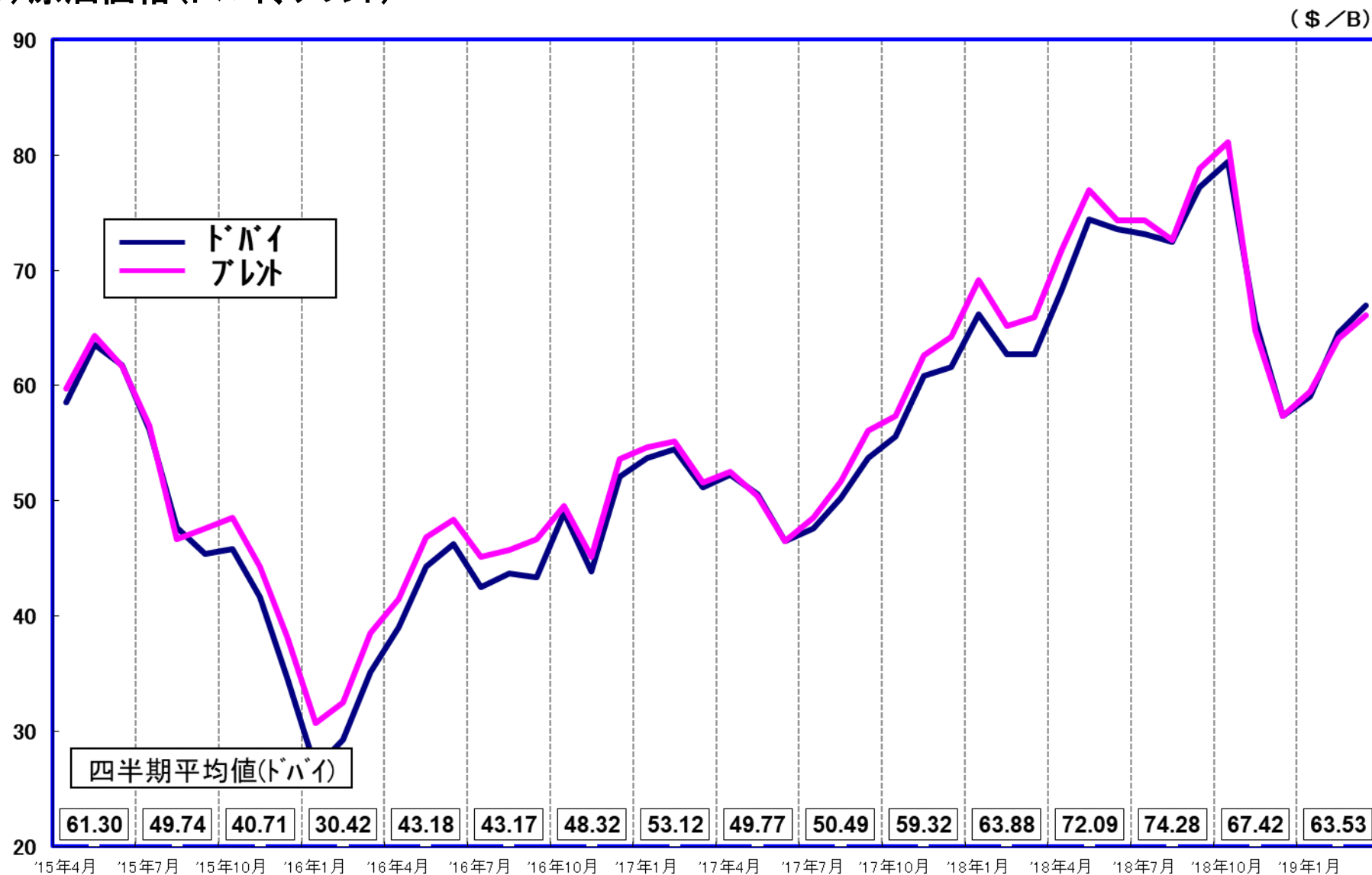
	'18年度実績	'19年度予想	増減	
エンシャム	4,453	4,360	▲93	▲2.1%
マッセルブルック	1,516	1,500	▲16	▲1.1%
ボガブライ	5,302	5,990	+688	+13.0%
タラウオンガ	204	0	▲204	▲100.0%
豪州石炭 合計	11,475	11,850	+375	+3.3%
マリナウ	1,068	1,230	+162	+15.2%
生産量 合計	12,543	13,080	+537	+4.3%

※数値は当社グループの保有権益ベース

※石油開発および石炭は12月決算

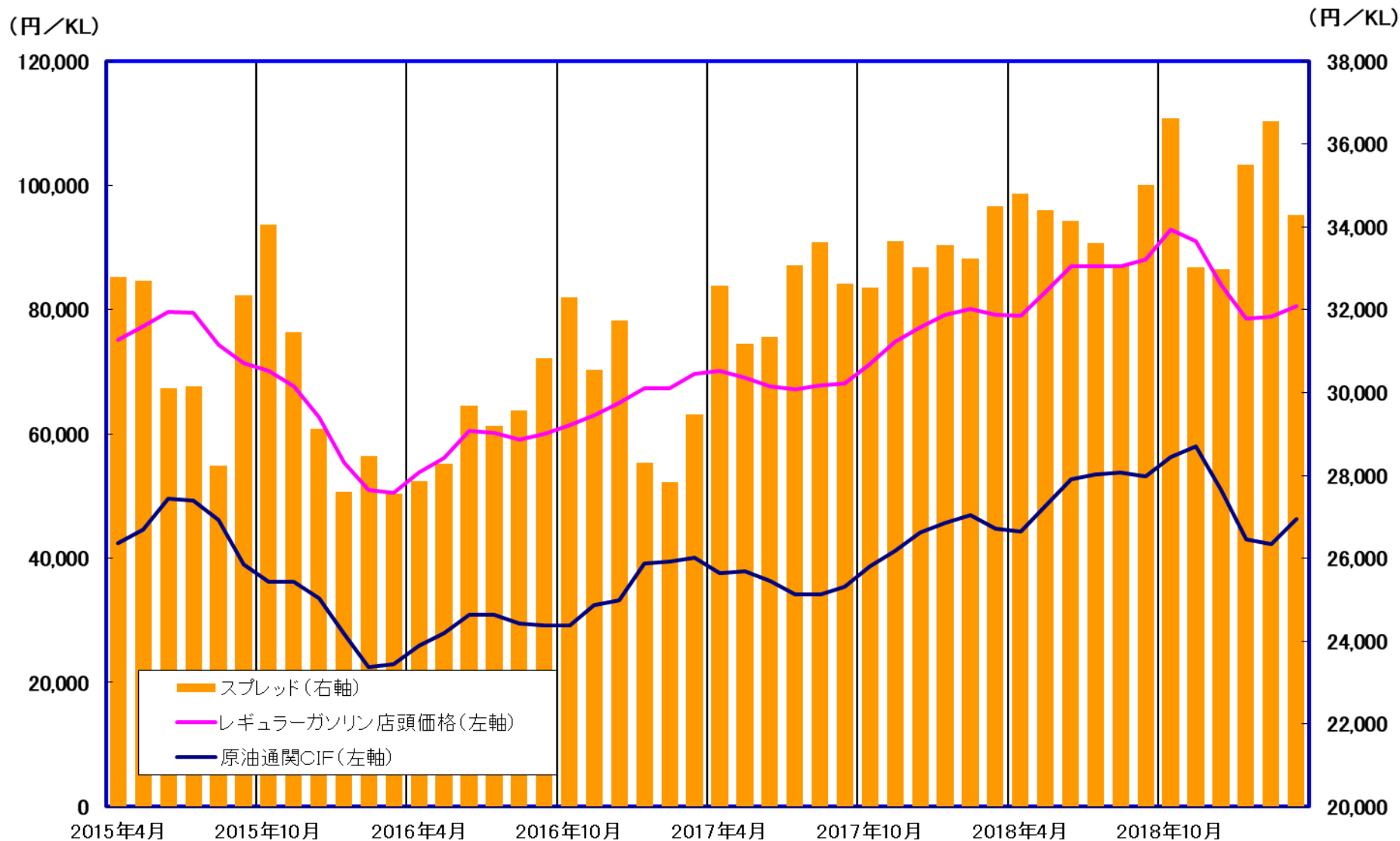
4. 市況

(1)原油価格(ドバイ、ブレント)



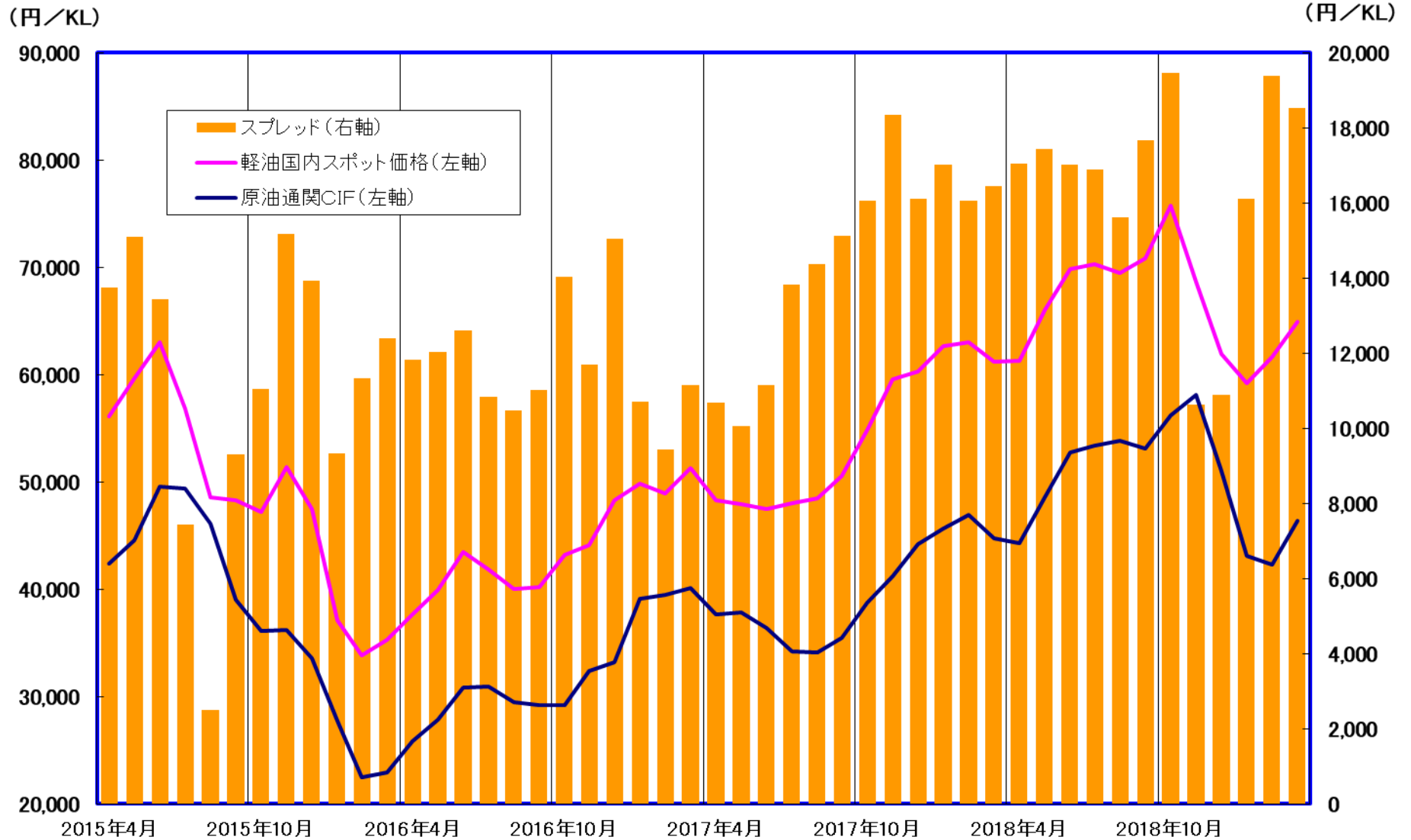
4. 市況

(2) ガソリンー原油CIF (価格推移 & スプレッド)



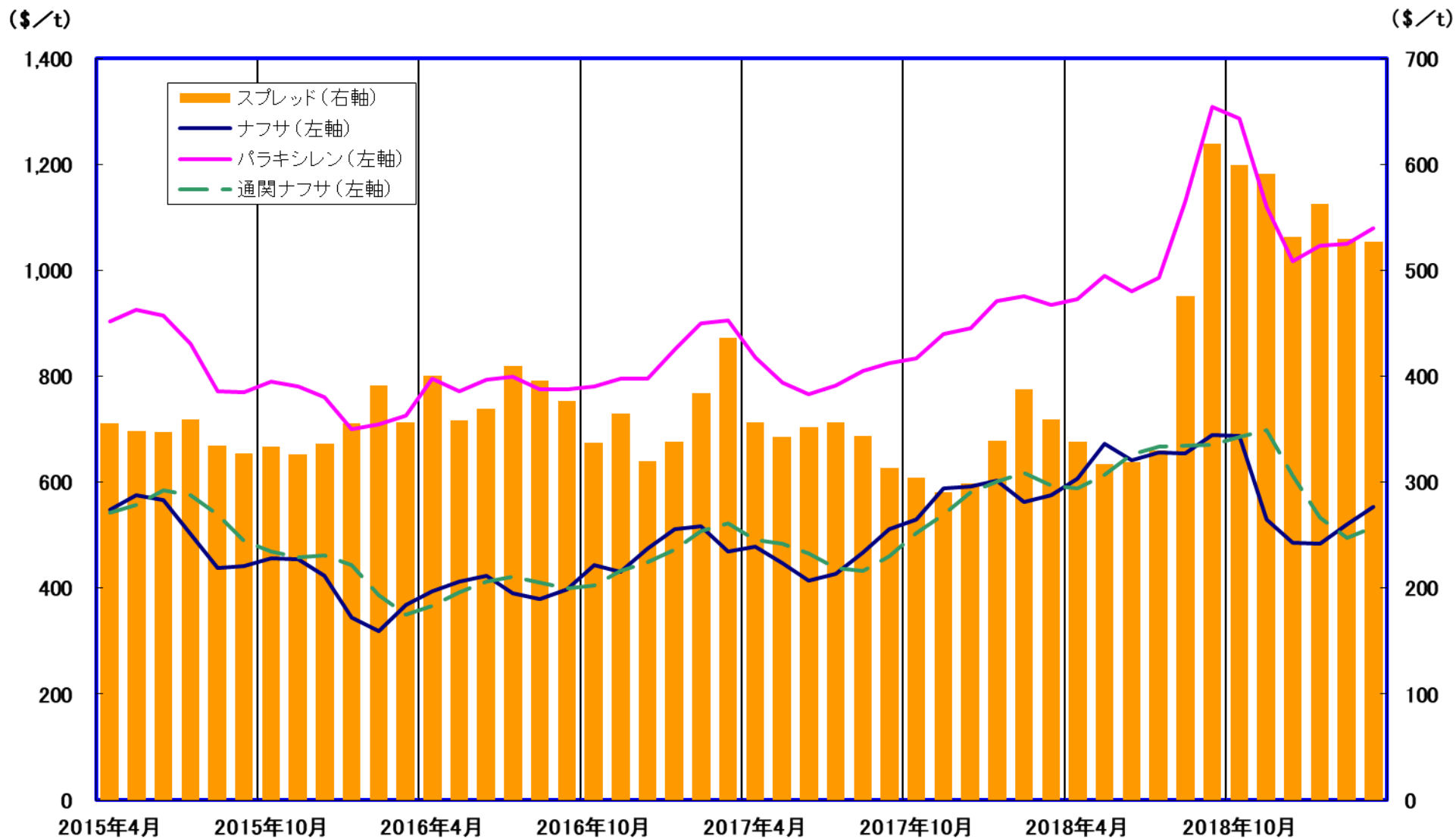
4. 市況

(3) 軽油－原油CIF (価格推移&スプレッド)



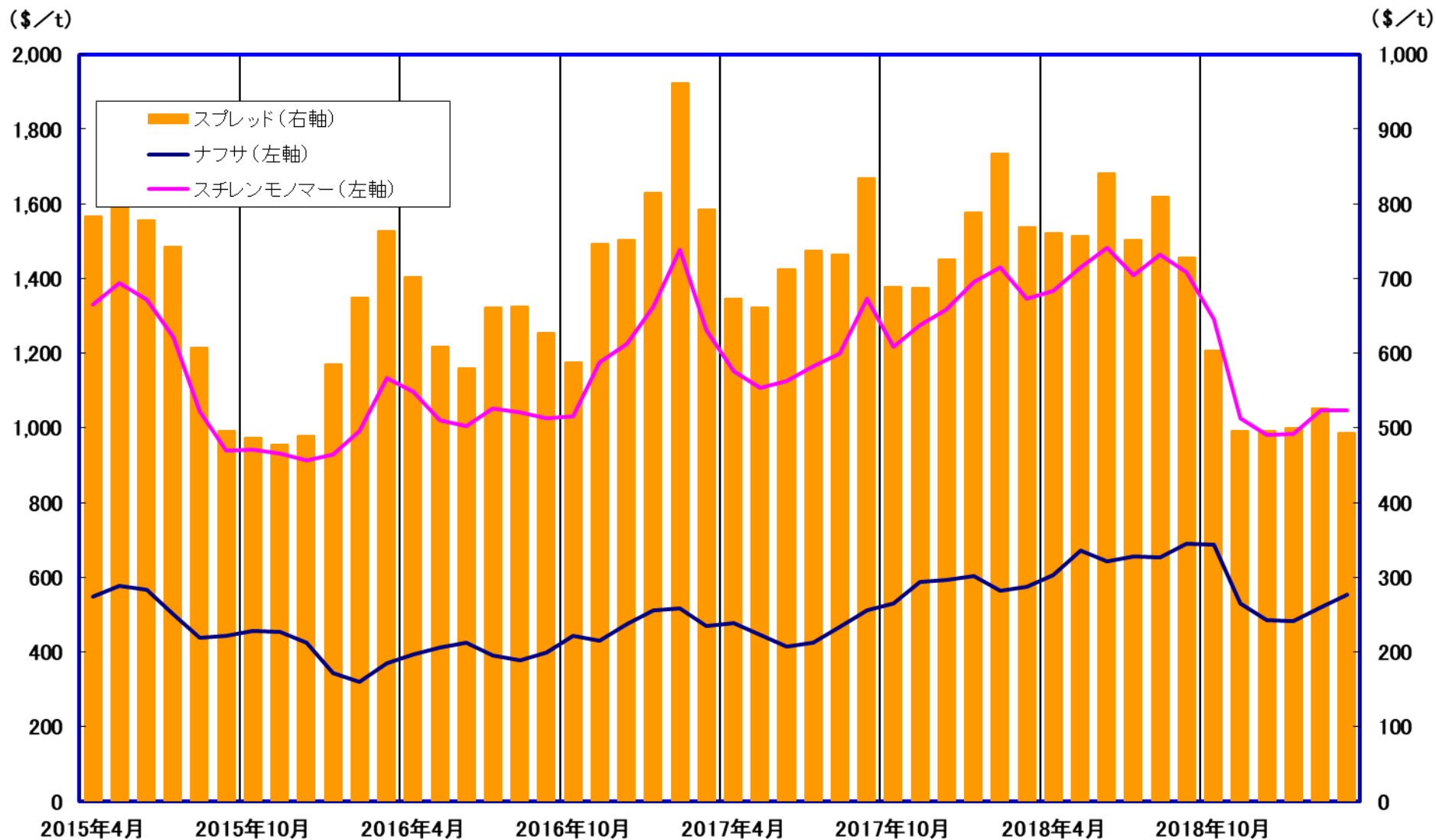
4. 市況

(4) パラキシレン-ナフサ(価格推移&スプレッド)

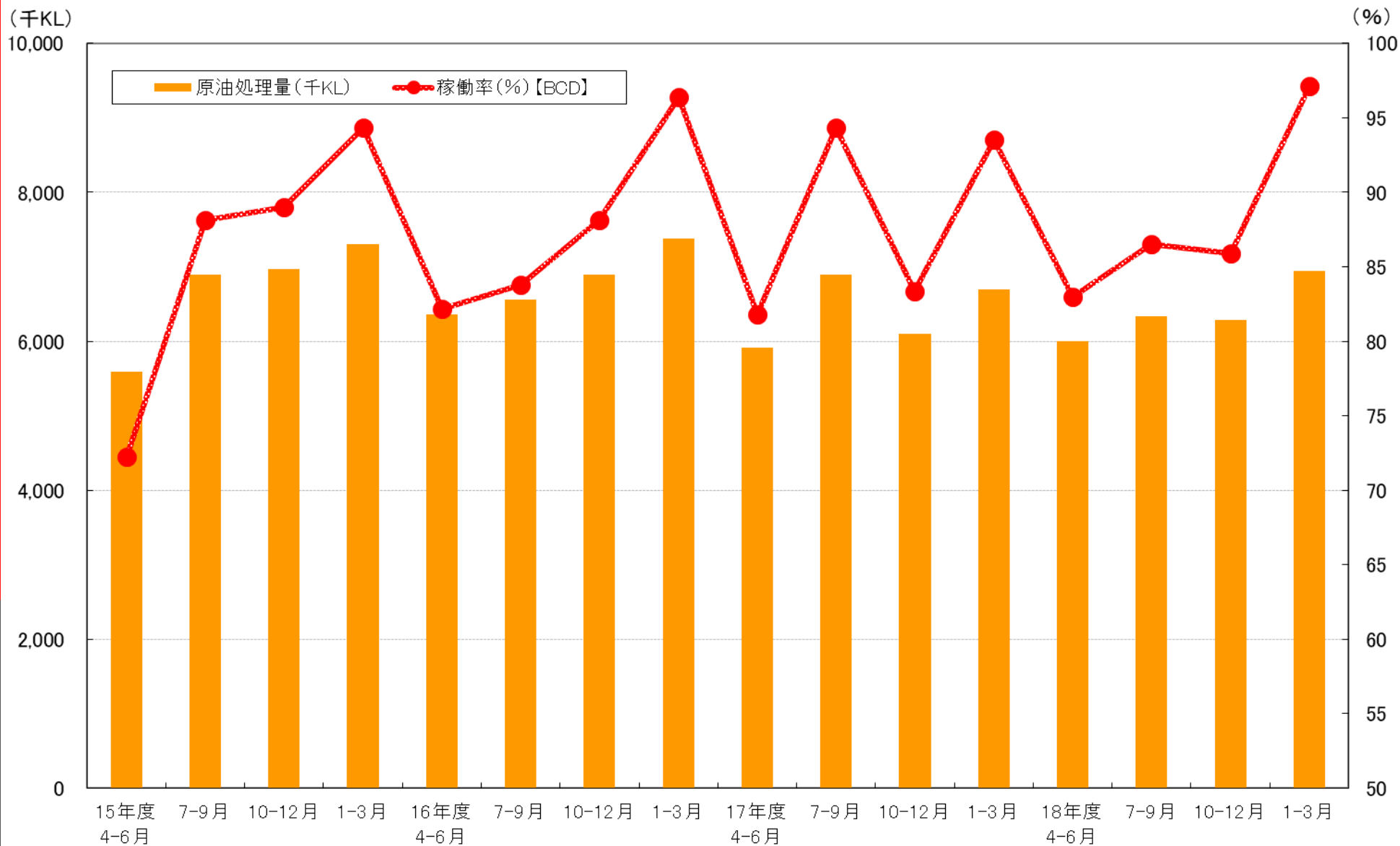


4. 市況

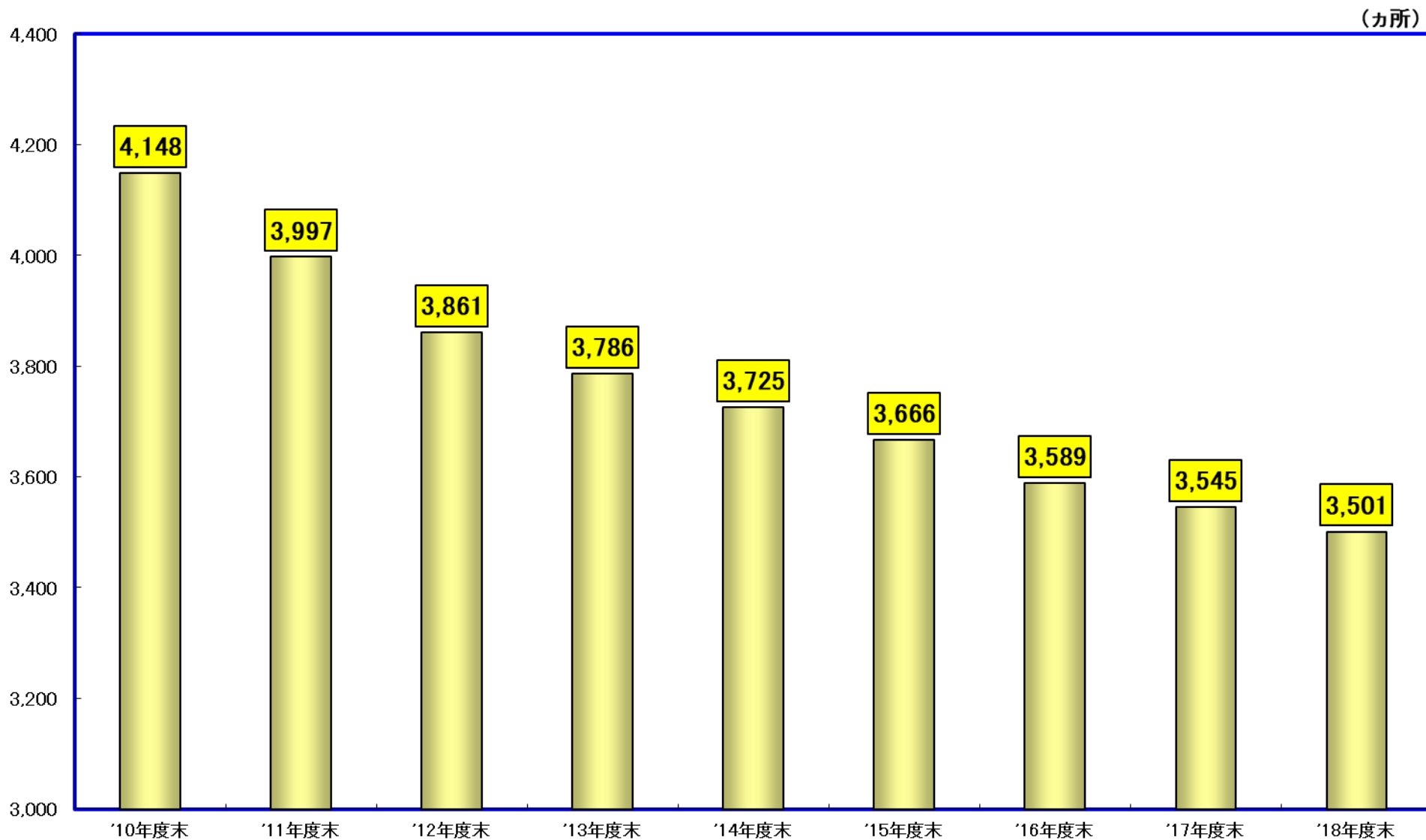
(5) スチレンモノマーナフサ(価格推移&スプレッド)



5. 製油所稼働の状況



6. SS数推移



見通しに関する注意事項

本資料に記載されている当社の業績見通し、戦略、経営方針などのうち、歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づいて作成しております。

実際の業績に影響を与え得る要素には、経済情勢、原油価格、石油製品の需要動向、市況、為替レートおよび金利など、潜在的リスクや不確実性があるものを含んでおります。

従いまして、実際の業績は、これらの重要な要素の変動により、業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。